



新年あけましておめでとうございます。地域おこし協力隊の古田です。
先ず、先月号の特集について、多くの反響をいただき、ありがとうございました。たくさんの方々にお声掛けいただき、皆さまが協力隊の活動や南越前町のこれからを真剣に考えていらっしゃるということをひしひしと感じ、私自身、大きな励みになりました。

さて、少し前のお話になりますが、昨年11月は、都市部にてPRの機会をたくさんいただきました。11月23日(日・祝)は東京ビッグサイトで開催された移住フェアに、29日(土)には仲倉町長のご友人にご紹介いただき、大阪の摂南大学で開催されたビジネス交流会に参加してきました。

東京での移住フェアでは、南越前町や地域おこし協力隊の活動に興味を持ってくださった方に2時間近く説明をさせていただき、町の魅力から協力隊活動まで、詳細に話し込んできました。



摂南大学でのビジネス交流会

また、大阪でのビジネス交流会では、多くの企業の方々との接点が生まれました。どなたも、地方におけるビジネスの可能性に大きな関心を持たれており「一度、南越前町を訪れて、どのような可能性があるのかを実際に見てみたい」といったご意見をいただくなど、都市部の方々からの地方に対する関心の高さを改めて実感する機会となりました。

一方で、私としては「誰でもいいから来てほしい」とは考えていません。南越前町に住む皆さまが「来てくれてよかった」と思えるような方々に来ていただくことが何より大切だと考えています。

これからもご縁を大切にしながら、引き続き頑張っていきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



MINAMIECHIZENCHO_IJYU
Instagram



東京ビッグサイトでの移住フェア

南越前町の風、東京へ。

まちみらいチャレンジ2025 活動経過

町では令和5年から「明治大学政治経済学部奥山雅之ゼミナール」と連携協定を締結し、まちみらいチャレンジ事業に取り組んでいます。この事業は、学生の「学びの場の確保」、時代に即した柔軟かつ多様な「地域の活性化につながる挑戦」を支援し、地域に貢献できる人材の育成および地域の活性化を図ることを目的としています。

今年度、11月9日(日)には東京都台東区浅草にある地域の暮らしに触れることができるアンテナショップ「ちいきと」で、今庄つるし柿を題材にしたワークショップイベントが開催されました。同月30日(日)には、昭和会館で開催された今庄つるし柿フェスタに明治大学生が携わりました。

ワークショップイベント

当日は、外国人の方を含む10名の方が参加し、今庄つるし柿の歴史や製造工程を紹介する映像の上映、試食会、南越前町に関するクイズの企画などを通じて町の魅力発信、PRが行われました。また、「ちいきと」において、蓮の実入りの生羽二重餅や今庄そばっこ、黄金の梅ジャムなどの特産品5品を2週間販売されました。

今庄つるし柿フェスタでの活動

明治大学生たちは、今庄つるし柿フェスタでの「今庄つるし柿ちょっぴり体験」ブースの運営に携わりました。当日は、体験希望者の呼び込みや、受付、誘導などの役割を担い、来場者や今庄つるし柿生産者と触れ合いました。実際に南越前町を訪れて、町の空気を感じ、地域の方々との交流を深める機会となりました。

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013



ワークショップの様子

特産品販売ブース



つるし柿フェスタの様子